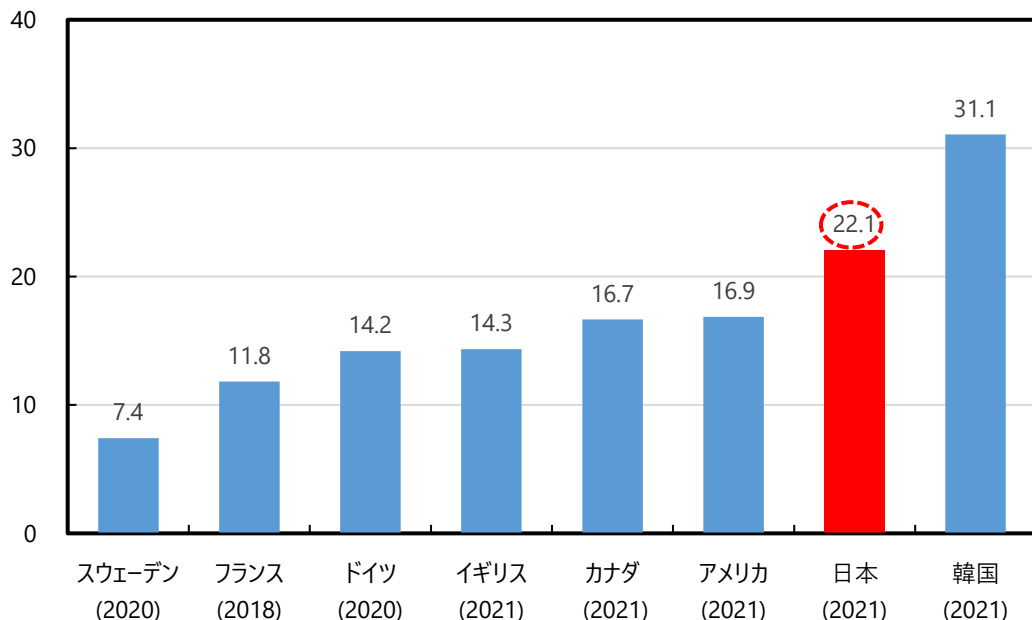


# 男女間賃金格差に係る現状

## 現状

- 日本の男女間賃金格差は、主要国と比べ大きい。
- 日本の男女間賃金格差は、産業により大きな差異がある。また、大企業の方が格差が大きい。

(%) 男女間賃金格差（男女の中間所得の差を男性中間所得で除した数値）の国際比較



(資料出所) (独) 労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2023」より作成

(注) 男女の中間所得の差を男性中間所得で除した数値。原則、フルタイム労働者の週あたり総収入が対象。

男女間賃金格差の大きい・小さい主な産業（一般労働者）

	一般労働者	うち正社員・正職員	うち正社員・正職員以外
産業計	74.8	77.5	79.8
金融業、保険業	61.5	61.6	70.6
製造業	68.2	72.9	75.6
卸売業、小売業	71.1	76.2	78.2
(中分類) 航空運輸業	(49.3)	(48.3)	(47.8)
(中略)			
情報通信業	77.9	79.0	74.1
運輸業、郵便業	80.3	83.0	86.0
電気・ガス・熱供給・水道業	80.9	83.2	80.1

企業規模別（一般労働者）

	一般労働者	うち正社員・正職員	うち正社員・正職員以外
規模計	74.8	77.5	79.8
1000人以上	71.0	75.5	79.9
100人～999人	76.8	79.2	80.0
10～99人	77.7	79.4	78.8

(資料出所) 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」(令和5年)より作成

(注) 所定内給与額の男女間格差 = 女性の所定内給与額 ÷ 男性の所定内給与額 × 100

- 各所管省庁等において、男女間賃金格差の大きい産業、公務に関する実態・課題の把握、対応策の検討を行う。